

Flora and Fauna in the Picture

museum of HORYUJI
mural reproductions



人の中の動物が動植物

二〇二三年
法隆寺金堂壁画模写春季展

入館無料

法隆寺金堂壁画模写展示館
休館日月曜

2023
4/14 FRI 10:00-16:00
5/14 SUN

(仏涅槃図模写) (部分) 2014~16年度模写・絹本着色 原本・1086年 国宝 金剛堂寺院蔵

※新型コロナウイルス感染症の状況により、予定を変更する場合がございます。最新情報は大学ウェブサイトよりご確認ください。

愛知県立芸術大学

事前申込制 | 1組10名様以内。鑑賞は45分以内。作品保護のため天候等により閉館する場合がございます。
申込方法 | 電話または事前申込フォームからお申込みください。
電話 | 0561-76-2873 (平日9:00~17:30)

事前申込フォーム



Flora and Fauna in the Picture

museum of HORYUJI
mural reproductions



絵の中の動物植物

二〇二三
法隆寺金堂壁画模写春季展

愛知県立芸術大学では、開学まもない1974年より日本画専攻初代教授片岡球子の主導のもとわが国古典絵画の模写制作に取り組んできました。2023年の春季展では、それら模写作品の中から動物や植物が描かれている作品を展覧いたします。

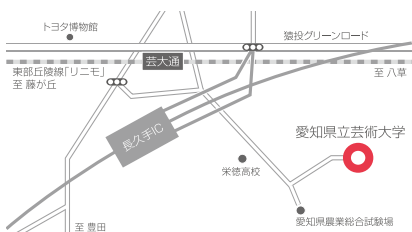
釈迦の入滅の場面を描いた《仏涅槃図模写》には、枯れゆく沙羅双樹と身をよじり天を仰ぐ獅子が描かれています。それらは、画面全体に充満する悲しみを表す重要な構成要素の一つとなっています。対して、《雪中雄鶏図模写》に描かれた雄鶏の羽は、細部まで入念に描きこまれています。ここでは、その密度や手触りといった生物そのものの美が作品の主題となっています。

本展では、本学の修了制作の中から優秀な作品として本学が買い上げた花鳥図や絵巻の模写作品なども展示し、それぞれの絵の中で動物や植物がどのように表現されているのかをご紹介します。

上 《仏涅槃図模写》
2014~16年度模写 絹本着色
原本：1086年 国宝 金剛峯寺蔵

中 《釈迦金棺出現図模写》
1989~90年度模写 絹本着色
原本：平安時代後期 国宝 京都国立博物館蔵

下 《伊藤若冲筆「雪中雄鶏図」現状模写》
加藤清香 2011年模写 紙本着色
原本：江戸時代中期 細見美術館蔵



愛知県立芸術大学
法隆寺金堂壁画模写展示館
Museum of Horyuji Mural Reproductions Aichi University of the Arts

〒480-1194 愛知県長久手市岩作三ヶ峯1-114
TEL/FAX 0561-76-4698
<https://www.aichi-fam-u.ac.jp>

- 名古屋方面から 市営地下鉄東山線「藤が丘」駅下車、東部丘陵線(リニモ)「芸大通」駅下車徒歩約10分
- 豊田・瀬戸方面から 愛知環状鉄道「八草」駅下車、東部丘陵線(リニモ)「芸大通」駅下車徒歩約10分